

科目名	担当教員	授業方法	授業形態	履修者数	履修学年
教育の思想と歴史	橘高 佳恵先生	講義	遠隔：オンデマンド	140名程度	2年以上

【授業内容】

授業の目的は、次のとおりです。「教育とは何かを問いつつ、学校教育を支える思想とその歴史を辿ることにより、学校教育についての理解を深め、公教育のありかたを考察する基盤を培う。」

【授業の実施方法】

教科書として、文献1冊を指定するとともに、私からは、スライド教材と音声教材により、当日の範囲についての補足説明とディスカッションのテーマを提示します。どちらも、授業開始時刻に合わせて公開していました。学生は、スライド教材と音声教材を踏まえて当日の範囲を読み、授業支援システムのディスカッションにおいて交流します。ディスカッションは、学生のインターネット環境等を考慮し、二日間ほど期間を設けました。

【授業準備にあたってのポイント・工夫した点】

学生間の交流の機会を保障することと、議論の深まりを重視しました。そのため、ディスカッションの投稿において疑問点を尋ねたり、学生間で返信したりすることなどを推奨しました。毎回のディスカッションについて、翌週、幾つかの投稿を取り上げつつ振り返りを行うことにより、私からの応答も伝えていました。なお、このディスカッションへの参加と学期末レポートにより成績を評価しています。

【従来の対面授業との違い～学習効果の観点から】

学生からの声として、授業支援システムのディスカッションにより、他の多くの学生の多様な考えに触れることができ、楽しかったというものが寄せられました。従来の対面授業では、履修規模の大きさもあり、全体の前で発言する者は少数でした。そのため小グループでの交流に重きを置きましたが、この場合、学生が対話できる範囲には限界がありました。オンライン上のやり取りが、この授業においては、学生間の交流の広がりや議論の深化につながったように思います。